

事務事業名		病院職員給与支払事務		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 15 年度から 平成 年度まで	
所属部門	公立芽室病院事務局 庶務係			課長名	大野邦彦		担当者名 内線番号	
総合計画体系	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり		予算科目	会計区分	款	項	
	政策名	生涯を通じて安心して暮らせる保健医療環境づくり			病院事業	1	1	1
	施策名	公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展			目 (収益的)			
法令根拠		-						

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果		5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)													
1.手段(事業の概要) 病院職員の給与実態の把握、異動の管理、支給事務、支給明細の配布を行う。		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>給与支払事務</td><td>式</td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	①	給与支払事務	式	②			③		
名称		単位													
①	給与支払事務	式													
②															
③															
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 病院職員		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>職員数</td><td>人</td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	①	職員数	人	②			③		
名称		単位													
①	職員数	人													
②															
③															
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 適正な給与環境・適正な必要人員		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>正職員給与費の医業収益割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	①	正職員給与費の医業収益割合	%	②			③		
名称		単位													
①	正職員給与費の医業収益割合	%													
②															
③															
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 地域における一定の急性期・慢性期患者等に対応できる医療を提供する。		<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>①</td><td>公立芽室病院の医療体制に対する満足</td><td>%</td></tr> <tr><td>②</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td><td></td></tr> </table>		名称		単位	①	公立芽室病院の医療体制に対する満足	%	②			③		
名称		単位													
①	公立芽室病院の医療体制に対する満足	%													
②															
③															

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更 有 (年度から) 無

内 訳	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算・目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	33年度 (目標)	34年度 (目標)
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	1,579,314,267	1,574,005,330	1,561,549,000			
	事業費計(A)	円	1,579,314,267	1,574,005,330	1,561,549,000	0		
	正職員従事人数	人	4	4	4			
人工数(業務量)	年間	0.3944	0.2657					
人件費計(B)	円	3,249,687	2,067,032					
トータルコスト(A)+(B)	円	1,582,563,954	1,576,072,362	1,561,549,000	0			
活動指標	①	式	1	1	1			
	②							
	③							
対象指標	①	人	133	129	121			
	②							
	③							
成果指標	①	%	69.7	69.9	65.0			
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	42.5	42.6	55.0			
	②							
	③							

◇事務事業の環境変化	
1.この事務事業を開始した背景 病院開設時から職員管理と併せて開始した。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 病院開設時から比べると診療科も増え、職員数も増えている。

事務事業名	病院職員給与支払事務	所属部門	公立芽室病院事務局	庶務係
-------	------------	------	-----------	-----

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	
※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 29年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 <input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	地域医療を行う機関として人員の確保は重要である。
有効性評価	2.対象と意図の拡大・縮小余地	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
	対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	適正な給与の支給(人事院勧告等)、人員配置に努めている
効率性評価	3.成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	人事院勧告によるところが大きい
公平性評価	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 <input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
	事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	地域医療を提供するためには医療スタッフの充実が必要不可欠であり、類似事業はない。
公平性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
	成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	地域医療を提供するためには医療スタッフの充実が必要不可欠であり、給与体系は人事院勧告によるところが大きい。平成30年度当初から病床の削減を打出し、特に看護部門の人件費の抑制に努めている。
公平性評価	6.受益と負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】 <input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】
	提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	条例・規則に基づき支給している。

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(30年度以降)の計画

30年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	人事院勧告に基づく、給与改定不足する臨時職員(介護員等)の確保及び待遇等の改善	改革・改善実施の方向性 現状維持																				
	31年度以降の取組	人事院勧告の動向及びH32年度始まる新たな臨時職員の任用制度の把握と対策に注視する。	2.改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下		
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持	○																					
	低下																						

※町民等の意見・要望に対する検討結果

平成 30 年度

事務事業マネジメントシート
(簡易シート)

作成日平成 30 年 4 月 10 日

事務事業名		病院職員任免事務		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 15 年度から 年度まで
所属 部門	公立芽室病院事務局	庶務係		課長名	大野邦彦	担当者名	江崎健一 (531)
総合 計画 体系	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり		根拠 法令	-		
	政策名	生涯を通じて安心して暮らせる保健医療環境づくり					
	施策名	公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展					
簡易シートを 選択した理由		<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金、繰出金のみの事業		<input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			

〔事業の概要〕
職員の採用に伴う募集・面接試験・採用手続及び退職に伴う手続等、病院職員全般の任免事務

〔改革・改善案の概要〕	改革・改善実施の方向性	現状維持
職員の採用に伴う募集・面接試験・採用手続及び退職に伴う手続等、病院職員全般の任免事務		

内 訳		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
事業 費	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円			
	一般財源	円			
	事業費計(A)	円	0	0	0
人件 費	正職員従事人数	人	4	4	4
	人工数(業務量)	年間	0.0484	0.0174	
	人件費計(B)	円	398,795	135,365	
	トータルコスト(A)+(B)	円	398,795	135,365	0

平成 30 年度

事務事業マネジメントシート
(簡易シート)

作成日平成 30 年 4 月 10 日

事務事業名	全国自治体病院協議会参画事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度事業期間	昭和 15 年度から年度まで
所属部門	公立芽室病院事務局	庶務係	課長名	大野邦彦	担当者名	江崎健一 (531)
総合計画体系	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり		根拠法令	-	
	政策名	生涯を通じて安心して暮らせる保健医療環境づくり				
	施策名	公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展				
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 計上予算が負担金、繰出金のみの事業		<input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			

〔事業の概要〕
 全国自治体病院協議会総会への参加。
 経営種別・病院種別の特別部会への参加。

〔改革・改善案の概要〕

改革・改善実施の方向性	現状維持
-------------	------

内 訳		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円			
	一般財源	円	158,429	158,429	163,000
	事業費計(A)	円	158,429	158,429	163,000
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4
	人工数(業務量)	年間	0.0003	0.0010	
	人件費計(B)	円	2,472	7,780	
トータルコスト(A)+(B)		円	160,901	166,209	163,000

平成 30 年度

事務事業マネジメントシート
(簡易シート)

作成日平成 30 年 4 月 10 日

事務事業名	北海道国保診療施設協議会参画事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度事業期間	昭和 15 年度から年度まで	
所属部門	公立芽室病院事務局	庶務係	課長名	大野邦彦	担当者名	江崎健一	内線 (531)
総合計画体系	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり		根拠法令	-		
	政策名	生涯を通じて安心して暮らせる保健医療環境づくり					
	施策名	公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展					
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 計上予算が負担金、繰出金のみの事業		<input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				

[事業の概要]
 学会・研究会・研修会、現地研究会への参加。
 地域包括ケア研修会への参加。

[改革・改善案の概要]

	改革・改善実施の方向性	現状維持	
--	-------------	------	--

-

内 訳		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円			
	一般財源	円	307,500	307,500	308,000
	事業費計(A)	円	307,500	307,500	308,000
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4
	人工数(業務量)	年間	0.0002	0.0010	
	人件費計(B)	円	1,648	7,780	
トータルコスト(A)+(B)		円	309,148	315,280	308,000

平成 30 年度

事務事業マネジメントシート
(簡易シート)

作成日平成 30 年 4 月 10 日

事務事業名	十勝町村立診療施設協議会参画事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度事業期間	昭和 15 年度から年度まで
所属部門	公立芽室病院事務局	庶務係	課長名	大野邦彦	担当者名	江崎健一 (531)
総合計画体系	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり		根拠法令	-	
	政策名	生涯を通じて安心して暮らせる保健医療環境づくり				
	施策名	公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展				
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 計上予算が負担金、繰出金のみの事業		<input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			

[事業の概要]
十勝町村における医療事業の調査研究と職員研修への参加。

[改革・改善案の概要]

改革・改善実施の方向性	現状維持
-------------	------

内 訳		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円			
	一般財源	円	15,000	10,000	10,000
	事業費計(A)	円	15,000	10,000	10,000
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4
	人工数(業務量)	年間	0.0003	0.0029	
	人件費計(B)	円	2,472	22,561	
	トータルコスト(A)+(B)	円	17,472	32,561	10,000

平成 30 年度

事務事業マネジメントシート
(簡易シート)

作成日平成 30 年 3 月 18 日

事務事業名	病院職員健康診断事務		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 15 年度から 年度まで	内線 (531)
所属部門	公立芽室病院事務局	庶務係	課長名	大野 邦彦	担当者名	佐藤 文彦	
総合 計画 体系	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり	根拠 法令	-			
	政策名	生涯を通じて安心して暮らせる保健医療環境づくり					
	施策名	公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展					
簡易シートを 選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金、繰出金のみの事業		<input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				

〔事業の概要〕
 病院職員の定期的な健康診断の実施。
 B型、C型肝炎検査、MRSA検査、総合健診の実施。

〔改革・改善案の概要〕

改革・改善実施の方向性	現状維持
-------------	------

-

内 訳		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円			
	一般財源	円			
	事業費計(A)	円	0	0	0
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4
	人工数(業務量)	年間	0.0220	0.0765	
	人件費計(B)	円	181,271	595,137	
	トータルコスト(A)+(B)	円	181,271	595,137	0

平成 30 年度

事務事業マネジメントシート
(簡易シート)

作成日平成 30 年 4 月 10 日

事務事業名	北海道自治体病院開設者協議会参画事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度事業期間	昭和 15 年度から年度まで
所属部門	公立芽室病院事務局	庶務係	課長名	大野邦彦	担当者名	江崎健一 (531)
総合計画体系	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり		根拠法令	-	
	政策名	生涯を通じて安心して暮らせる保健医療環境づくり				
	施策名	公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展				
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金、繰出金のみの事業		<input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			

[事業の概要]
 地域ブロック内の国保の自治体病院開設者との意見交換会の実施。

[改革・改善案の概要]

改革・改善実施の方向性	現状維持	
-------------	------	--

内 訳		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円			
	一般財源	円	0		
	事業費計(A)	円	0	0	0
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4
	人工数(業務量)	年間	0.0002	0.0006	
	人件費計(B)	円	1,648	4,668	
	トータルコスト(A)+(B)	円	1,648	4,668	0

事務事業名		病院運営委員会開催事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 58 年度から 平成 年度まで	
所属部門	公立芽室病院事務局 庶務係			課長名	大野 邦彦	担当者名 内線番号	佐藤 文彦 (531)	
総合計画体系	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり			予算科目	会計区分	項 目	
	政策名	生涯を通じて安心して暮らせる保健医療環境づくり				病院事業	1 2 5	収益的
	施策名	公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展				予算上の事業名		

法令根拠 | -

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 運営委員会を開催し、前年度決算状況、当年度の収入状況の報告、新年度の予算・主要事業・診療体制について協議を行う。	5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 委員(町民)	6.対象指標(対象の大きさを表す指標)
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 病院経営状況を理解し、住民が求める医療環境づくりのための意見や要望等をだしてもらおう。	7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 地域における一定の急性期、慢性期患者等に対応できる、1. 5次の医療を提供する。	8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名称	単位
① 開催数	回
②	
③	

名称	単位
① 委員数	人
②	
③	

名称	単位
① 経営損益	千円
②	
③	

名称	単位
① 公立芽室病院の医療体制に対する満足度	%
②	
③	

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更 有 (年度から) 無

内 訳	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算・目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	33年度 (目標)	34年度 (目標)
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	67,362	103,100	87,000			
	事業費計(A)	円	67,362	103,100	87,000	0		
	正職員従事人数	人	4	4	4			
人件費	人工数(業務量)	年間	0.0143	0.0214				
	人件費計(B)	円	117,826	166,483				
	トータルコスト(A)+(B)	円	185,188	269,583	87,000	0		
活動指標	①	回	2	3	3			
	②							
	③							
対象指標	①	人	12	12	12			
	②							
	③							
成果指標	①	千円	(232,706)	(242,000)	(90,000)			
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	42.5	42.6	55.0			
	②							
	③							

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 昭和58年度に、病院の運営費についての諮問機関として発足した。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 発足当時から比べると、診療科も増え、経営規模も大きくなっている。
--	--

事務事業名	病院運営委員会開催事業	所属部門	公立芽室病院事務局	庶務係
-------	-------------	------	-----------	-----

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	
※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 29年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 <input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】 公立芽室病院は、地域医療を担う医療機関として重要である。
	2.対象と意図の拡大・縮小余地	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】 委員人数は適正である。
有効性評価	3.成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】 病院事業の経常損益は診療報酬によるところが非常に大きいので、簡単に成果の向上は難しい。
	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 <input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】 病院経営については、住民の意向を聞き、検討する場が必要である。
効率性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】 運営委員会開催に必要な経費のみであるため、削減はできない。
公平性評価	6.受益と負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】 <input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】 受益が限定されたり、費用負担を求める事業ではない。

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(30年度以降)の計画

30年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	改革・改善実施の方向性																				
	新・改革プランの改定について委員に説明。	現状維持 2.改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
31年度以降の取組	新・改革プランに基づく検証、改革を推進する。 運営委員等の意見を参考に、公立病院としての方向性、あり方を随時検証する。																					

※町民等の意見・要望に対する検討結果

事務事業名		病院施設維持管理事業			事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 41 年度から 平成 年度まで		
所属部門	公立芽室病院事務局 庶務係			課長名	大野 邦彦		担当者名 内線番号	渡辺 雅俊 (531)		
総合計画体系	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり			予算科目	会計区分	款	項	目	予算上の事業名
	政策名	生涯を通じて安心して暮らせる保健医療環境づくり				病院事業	1	1	3	(収益的)
	施策名	公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展				病院事業	1	1	2	(資本的)

法令根拠 -

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 管理棟・外来等・病院敷地・病院駐車場の維持管理	→	5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 病院施設		6.対象指標(対象の大きさを表す指標)
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 町民の健康予防・治療のための施設		7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 地域医療の核となる施設として多くの利用を図る。		8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名称		単位
①	病院数	か所
②		
③		

名称		単位
①	診療科	科
②		
③		

名称		単位
①	医師数	人
②	病床数	床
③		

名称		単位
①	公立芽室病院の医療体制に対する満足度	%
②		
③		

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更 有 (年度から) 無

内 訳		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算・目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	33年度 (目標)	34年度 (目標)
投入量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円							
	一般財源	円	105,195,316	110,327,010	116,455,000				
	事業費計(A)	円	105,195,316	110,327,010	116,455,000	0			
	正職員従事人数	人	4	4	4				
人工数(業務量)	年間	0.4367	0.6039						
人件費計(B)	円	3,598,221	4,698,079						
トータルコスト(A)+(B)	円	108,793,537	115,025,089	116,455,000	0				
活動指標	①	か所	1	1	1				
	②								
	③								
対象指標	①	科	11	11	10				
	②								
	③								
成果指標	①	人	16	14	16				
	②	床	150	150	107	-			
	③								
上位成果指標	①	%	42.5	42.6	55				
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 町民の健康を予防・治療のための病院施設の維持・管理を行うため	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 安定した病院運営のための施設の維持・管理(施設・設備の老朽化への対策)
---	---

事務事業名	病院施設維持管理事業	所属部門	公立芽室病院事務局	庶務係
-------	------------	------	-----------	-----

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	
※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 29年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 <input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】 安心してくらししていける生活環境づくりのため必要である。
	2.対象と意図の拡大・縮小余地	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】 現状の規模が適正である。
有効性評価	3.成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】 更新工事及び修繕等に対応するが、建設してから年数も経過しており当面は現状維持。
	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 <input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】 歯科は平成29年度で廃止となったが、総合的な診断・治療は地域医療の核として必要な施設であり、また町内に類似施設がなく、車を持たない年配の方はバスや徒歩で病院に通われるため必要である。
効率性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】 医療水準の確保が不可欠であることから、一定の事業費を確保していく必要があり、事業費の削減は提供するサービスの質の低下につながる。
公平性評価	6.受益と負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(30年度以降)の計画

30年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	安定した医療サービスの提供を継続するため、計画的な建物、設備等の維持修繕を実施し、既存建物の長寿命化に努める。また、外壁補修や水回り等の更新に当たっては、医業収益に注視しながら計画的に更新していくこととするが、将来収支計画の展望によっては一般会計からの出資を受け、安定した病院経営体制を構築する。	改革・改善実施の方向性 現状維持																				
			2.改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
31年度以降の取組	公立芽室病院の改築から25年以上経過していることから、施設・設備・備品等購入計画に基づき、施設設備を進めるが、状況に応じ変更する。(優先順位の変更又は、緊急を要する場合は直ちに施設整備を行う。)今後、現施設を数十年使用していく為に、状況に応じ大規模な改修工事が必要になる。																						

※町民等の意見・要望に対する検討結果

事務事業名		職員会館維持管理事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 63 年度から 平成 年度まで		
所属部門	公立芽室病院事務局 庶務係			課長名	大野 邦彦	担当者名 内線番号	渡辺 雅俊 (531)		
総合計画体系	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり		予算科目	会計区分	款	項	目	予算上の事業名
	政策名	生涯を通じて安心して暮らせる保健医療環境づくり			病院事業	1	1	2	(資本的)
	施策名	公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展							

法令根拠 | -

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 職員会館の維持管理
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 職員会館施設
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 出張医や研修医の宿泊施設の提供と院内保育事業
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 地域医療の核となる病院の医師及び看護師等の確保を図る。

5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)

名称	単位
① 職員会館数	か所
②	
③	

6.対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
① 部屋数	部屋
② (医師等宿泊9室・院内保育1室・計10室)	
③	

7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)

名称	単位
① 出張医師等利用人数	人
② 院内保育利用人数	人
③	

8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名称	単位
① 公立芽室病院の医療体制に対する満足度	%
②	
③	

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更 有 (年度から) 無

内 訳		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算・目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	33年度 (目標)	34年度 (目標)
投入量	国・道支出金	円							
	地方債	円							
	その他(使用料等)	円							
	一般財源	円	309,204	474,991	830,000				
	事業費計(A)	円	309,204	474,991	830,000	0			
	正職員従事人数	人	4	4	3				
人工数(業務量)	年間	0.0854	0.0146						
人件費計(B)	円	703,659	113,582						
トータルコスト(A)+(B)	円	1,012,863	588,573	830,000	0				
活動指標	①	か所	1	1	1				
	②								
	③								
対象指標	①	部屋	10	10	10				
	②								
	③								
成果指標	①	人	545	499	324				
	②	人	393	974	744				
	③								
上位成果指標	①	%	42.5	42.6	55				
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 町民の健康と予防・治療のための医師及び看護師等の確保のため	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 安定した病院運営(医師及び看護師等確保)のため、出張医、研修医等に良好な宿泊を提供すること及び院内保育を行うため、施設の維持管理(老朽化の対策)を図る。
--	--

事務事業名	職員会館維持管理事業	所属部門	公立芽室病院事務局	庶務係
-------	------------	------	-----------	-----

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	
※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 29年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 <input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】 出張医師、研修医、実習生の受け入れ体制確保及び院内保育体制確保のため必要である。
	2.対象と意図の拡大・縮小余地	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】 現状の規模が適切である。
有効性評価	3.成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】 建設から年数もかなり経過していることから、修繕等も行い現状体制の維持を行う。
	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 <input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】 本来、病院内に宿泊施設があると望ましいが、これ以上離れた場合は医療体制に影響がでるため必要な施設である。
効率性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】 医師確保、医療水準の確保が不可欠であることから、事業費の削減余地はない。また、院内保育については今後の動向を踏まえ検討が必要になる。
公平性評価	6.受益と負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(30年度以降)の計画

30年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	大規模な施設修繕は予定しておらず、当面は現状の維持管理に努める。	改革・改善実施の方向性 現状維持																						
			2.改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
31年度以降の取組	職員会館が築38年を経過していることから、今後、施設の継続、あり方を含め検討する必要がある。																								

※町民等の意見・要望に対する検討結果

平成 30 年度

事務事業マネジメントシート
(簡易シート)

作成日平成 30 年 4 月 17 日

事務事業名	医師住宅維持管理事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 41 年度から 年度まで
所属部門	公立芽室病院事務局	庶務係	課長名	大野 邦彦	担当者名	渡辺 雅俊 (531)
総合 計画 体系	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり	根拠 法令	-		
	政策名	生涯を通じて安心して暮らせる保健医療環境づくり				
	施策名	公立芽室病院の総合的な医療体制維持・発展				
簡易シートを 選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金、繰出金のみの事業		<input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			

[事業の概要]
医師住宅の維持管理

[改革・改善案の概要] 改革・改善実施の方向性 現状維持

診療科と医師の確保より、町民の健康推進と病気の予防・治療の充実を図る。

内 訳		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円			
	一般財源	円			
	事業費計(A)	円	0	0	0
人件費	正職員従事人数	人	4	4	3
	人工数(業務量)	年間	0.0781	0.0334	
	人件費計(B)	円	643,511	259,837	
トータルコスト(A)+(B)		円	643,511	259,837	0

平成 30 年度

事務事業マネジメントシート
(簡易シート)

作成日平成 30 年 4 月 17 日

事務事業名	防災等安全管理事業		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度事業期間	昭和 63 年度から年度まで
所属部門	公立芽室病院事務局	庶務係	課長名	大野 邦彦	担当者名	渡辺 雅俊 (531)
総合計画体系	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり	根拠法令	-		
	政策名	生涯を通じて安心して暮らせる保健医療環境づくり				
	施策名	公立芽室病院の総合的な医療体制維持・発展				
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金、繰出金のみの事業		<input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			

[事業の概要]
 病理棟・外来棟・病棟・病院敷地・病院駐車場の安全管理

[改革・改善案の概要] 改革・改善実施の方向性 現状維持

夜間火災を想定した避難訓練を実施し、患者の安全対策の向上を図る。なお、平成25年度には停電対応マニュアルを作成・配布し、一層の危機回避に努めている。

内 訳		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算)
事業費	国・道支出金	円			
	地方債	円			
	その他(使用料等)	円			
	一般財源	円			
	事業費計(A)	円	0	0	0
人件費	正職員従事人数	人	4	4	3
	人工数(業務量)	年間	0.0243	0.0081	
	人件費計(B)	円	200,222	63,014	
	トータルコスト(A)+(B)	円	200,222	63,014	0

事務事業名		医療業務用品購入事務		事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 15 年度から 平成 年度まで		
所属部門	公立芽室病院事務局 庶務係			課長名	大野 邦彦	担当者名 内線番号	佐藤 文彦 (531)		
総合計画体系	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり		予算科目	会計区分	款	項	目	予算上の事業名
	政策名	生涯を通じて安心して暮らせる保健医療環境づくり			病院事業	1	1	3	収益的
	施策名	公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展			病院事業	1	1	6	収益的

法令根拠 -

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 医療機器用消耗品費、人工透析用消耗品費、医療消耗備品の購入	5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 外来患者・入院患者	6.対象指標(対象の大きさを表す指標)
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 外来患者・入院患者が、機器を使用し、より良い処置・治療・手術・検査等を受けることができる。	7.成果指標(意図の達成度合を表す指標)
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 外来患者・入院患者が、検査結果を知ることが出来、また病気の治癒につながる事が出来る。また病気が発見された時は、治療につながる。	8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名称	単位
① 医療業務用品購入事務	円
②	
③	

名称	単位
① 年間入院患者数	人
② 年間外来患者数	人
③	

名称	単位
① 入院患者数前年対比	%
② 外来患者数前年対比	%
③	

名称	単位
① 公立芽室病院の医療体制に対する満足度	%
②	
③	

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更 有 (28年度から) 無

内 訳	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算・目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	33年度 (目標)	34年度 (目標)
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	4,875,755	4,219,302	4,784,000			
	事業費計(A)	円	4,875,755	4,219,302	4,784,000	0		
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4			
	人工数(業務量)	年間	0.2115	0.1812				
	人件費計(B)	円	1,742,669	1,409,657				
トータルコスト(A)+(B)	円	6,618,424	5,628,959	4,784,000	0			
活動指標	①	円	4,875,755	4,219,302	4,784,000			
	②							
	③							
対象指標	①	人	34,616	33,498	38,326			
	②	人	78,876	74,477	76,750			
	③							
成果指標	①	%	102.8	96.8	114.4			
	②	%	95.8	94.4	103.1			
	③							
上位成果指標	①	%	42.5	42.6	55.0			
	②							
	③							

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 昭和58年度に、病院の運営費についての諮問機関として発足した。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 発足当時から比べると、診療科も増え、経営規模も大きくなっている。
--	--

事務事業名	医療業務用品購入事務	所属部門	公立芽室病院事務局	庶務係
-------	------------	------	-----------	-----

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	
※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 29年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 <input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか	公立芽室病院の維持管理は、総合的な医療体制の整備に必要不可欠なものである。また地域医療の確保
有効性評価	2.対象と意図の拡大・縮小余地	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
	対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	高齢化が進むなかで通院手段のない人たちにとっては、設備の整った診療施設は安心・安全の上でも重要
効率性評価	3.成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	安定的な医療体制の確保により、患者数の増加につながる。
公平性評価	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】 <input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
	事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	医療機器の購入整備は、外来患者・入院患者・処置・治療・検査には、必要不可欠なものである。
効率性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
	成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	公立芽室病院には、内科・外科・整形外科・産婦人科・小児科・眼科・耳鼻咽喉科・歯科・リハビリテーション科・放射線科・人工透析科があり、多種多様の機器が設置されているなかで、その機器の修理・更新などの整備は診療体制を確保していくために欠かせないものである。
公平性評価	6.受益と負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】 <input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】
	提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	健康保険法により保険点数が決まっている。

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(30年度以降)の計画

30年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	安定した医療サービスの提供を継続するため、計画的に医療機器を更新していくとともに、医療機器のメンテナンスに意を用い、既存の医療機器の長寿命化に努める。	改革・改善実施の方向性																				
			現状維持 2.改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
31年度以降の取組	医療機器の状況及び管内病院の機器保有状況の情報を仕入れ、機器安全委員会で十分な検討を重ね整備計画を立てる。また、機器の丁寧な使用に配慮し、長寿命化を進める。																						

※町民等の意見・要望に対する検討結果

事務事業名		医療機器等整備事業			事務事業の性格	毎年繰返事業	開始年度 事業期間	昭和 15 年度から 平成 年度まで		
所属部門	公立芽室病院事務局 庶務係			課長名	大野 邦彦		担当者名 内線番号	佐藤 文彦 内線 (531)		
総合計画体系	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり			予算科目	会計区分	款	項	目	予算上の事業名
	政策名	生涯を通じて安心して暮らせる保健医療環境づくり				病院事業	1	1	1	資本的収入
	施策名	公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展				病院事業	1	1	2	資本的収入
					病院事業	1	1	1	資本的支出	

法令根拠 -

現状把握の部(Do) → 現在やっていること

◇事務事業の目的と効果

1.手段(事業の概要) 医療機器安全管理委員会で検討し購入。
2.対象(何を対象にしているか～人、公共施設、自然資源など) 外来患者・入院患者
3.意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 外来患者・入院患者が、機器を使用し、より良い処置・治療・手術・検査等を受けることができる。
4.結果(どんな結果に結び付けるのか) 外来患者・入院患者が、検査結果を知ることが出来、また病気の治癒につながる事が出来る。また病気が発見された時は、治療につながる。

5.活動指標(手段や活動内容を表す指標)

	名称	単位
①	器械及び備品購入額	円
②		
③		

6.対象指標(対象の大きさを表す指標)

	名称	単位
①	年間入院患者数	人
②	年間外来患者数	人
③		

7.成果指標(意図の達成度を表す指標)

	名称	単位
①	入院患者数前年対比	%
②	外来患者数前年対比	%
③		

8.上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

	名称	単位
①	公立芽室病院の医療体制に対する満足度	%
②		
③		

◇総事業費・指標等の推移 → 事務事業及び各指標の変更 有 (28年度から) 無

内 訳		単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予算・目標)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	33年度 (目標)	34年度 (目標)
投入量	国・道支出金	円	3,167,000	4,050,000					
	地方債	円	21,300,000	10,000,000	30,000,000				
	その他(使用料等)	円							
	一般財源	円	9,304,708	16,924,013	11,705,000				
	事業費計(A)	円	33,771,708	30,974,013	41,705,000	0			
	正職員従事人数	人	4	4	4				
人工数(業務量)	年間	0.1623	0.0906						
人件費計(B)	円	1,337,283	704,829						
トータルコスト(A)+(B)	円	35,108,991	31,678,842	41,705,000	0				
活動指標	①	円	33,771,708	30,974,013	41,705,000				
	②								
	③								
対象指標	①	人	34,616	33,498	38,326				
	②	人	78,876	74,477	74,750				
	③								
成果指標	①	%	102.8	96.8	114.4				
	②	%	95.8	94.4	100.4				
	③								
上位成果指標	①	%	42.5	42.6	55.0				
	②								
	③								

◇事務事業の環境変化

1.この事務事業を開始した背景 昭和15年、村立芽室診療所開設に伴い、医療機器等の購入整備が必要になった。	2.事務事業を取り巻く状況と今後の予測(どう変わったか、どうなるか) 開始時と比べ診療科が増え、外来患者・入院患者も増え、医療技術も日々進歩することからそれらに伴い、医療機器の種類・保有台数が増え、機器の更新・修理・保守契約の数が増えている。
--	--

事務事業名	医療機器等整備事業	所属部門	公立芽室病院事務局	庶務係
-------	-----------	------	-----------	-----

◇町民等からの意見・要望 → 町民の声をどう反映させたのかをシート下段の改善・改革の概要に明記

1.町民等からの意見・要望	<input type="checkbox"/> 意見がある【具体例↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 特定できる意見がない
この事務事業に対して、町民からのホットボイスなどの広聴制度、また、議会や関係者からの意見・要望が寄せられているか	
※反映させた具体案はシート下段の改善・改革の概要に明記	

評価の部(See) → 29年度実績からみた評価

目的妥当性評価	1.町の関与の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性はある【理由↓】 公立芽室病院の維持管理は、総合的な医療体制の整備に必要不可欠なものである。また地域医療の確保にも貢献している。	<input type="checkbox"/> 必要性はない【理由↓】
	なぜ、この事務事業は税金を投入して、町が行わなければならないのか		
有効性評価	2.対象と意図の拡大・縮小余地	<input type="checkbox"/> 拡大・縮小できる【→改革改善案へ】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大・縮小できない【理由↓】
	対象・意図を広げたり、逆に狭めたりすることはできないか	高齢化が進むなかで通院手段のない人たちにとっては、設備の整った診療施設は安心・安全の上でも重要。	
効率性評価	3.成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上できる【→改革改善案へ】	<input checked="" type="checkbox"/> 向上できない【理由↓】
	事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができるか	安定的な医療体制の確保により、患者数の増加につながる。	
公平性評価	4.廃止・休止・類似事業との統廃合余地	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止・統廃合で影響がある【理由↓】	<input type="checkbox"/> 影響がない【→改革改善案へ】
	事務事業を廃止・休止・統廃合した場合、支障があるか	医療機器の購入整備は、外来患者・入院患者・処置・治療・検査には、必要不可欠なものである。	
公平性評価	5.事業費(トータルコスト)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減できる【→改革改善案へ】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減できない【理由↓】
	成果を下げずに事業費・業務時間を縮減する手段・方策はないか	公立芽室病院には、内科・外科・整形外科・産婦人科・小児科・眼科・耳鼻咽喉科・歯科・リハビリテーション科・放射線科・人工透析科があり、多種多様の機器が設置されているなかで、その機器の修理・更新などの整備は診療体制を確保していくために欠かせないものである。	
公平性評価	6.受益と負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 受益・負担が適正である【理由↓】	<input type="checkbox"/> 受益・負担が適正でない【→改革改善案へ】
	提供すべき対象へ提供できているか、費用負担が適切になっているか	健康保険法により保険点数が決まっている。	

改革・改善の部(Plan) → 上記の町民等の意見・要望や評価結果を受けた改革案・今後(30年度以降)の計画

30年度の取組	1.改革・改善案の概要(現状で想定される課題や解決策がある場合には合わせて記入)	改革・改善実施の方向性																							
	安定した医療サービスの提供を継続するため、計画的に医療機器を更新していくとともに、医療機器のメンテナンスに意を用い、既存の医療機器の長寿命化に努める。	現状維持	2.改革・改善による期待成果																						
31年度以降の取組	医療機器の状況及び管内病院の機器保有状況の情報を仕入れ、機器安全委員会で十分な検討を重ね整備計画を立てる。また、機器の丁寧な使用に配慮し、長寿命化を進める。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																					
削減	維持			増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								

※町民等の意見・要望に対する検討結果